

平成25年度第5回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成25年10月2日（水）
午後4時45分～午後5時30分
場 所：市役所3階委員会室
事務局：企画政策課
外部アドバイザー：㈱船井総合研究所

1. 開会

代理出席（土屋委員代理：海匠漁業協同組合長谷川氏）報告
欠席（古谷委員、菅生委員）報告

2. あいさつ

委員長：お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、第3セクター設立作業部会の方においては、引き続きよろしく申し上げます。今回の準備委員会から限られた会議時間になりますが、活発な意見交換をお願いいたします。

市長：本日第1回目の第3セクター設立作業部会が開催されたということで、部会の方方は長時間ですが引き続き協議をお願いします。またその他の準備委員の皆様には大変遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。今後も具体的な議事内容となってくるので、皆様からの一層の活発な意見交換とスピーディーな対応をお願いしたい。市民の方からも「どこまで計画が進んでいるのか」「早く整備してほしい」との声をよく聞くので、なるべく早くオープンしたいという気持ちもあるが、しっかりした準備も必要なので慎重審議をお願いします。

3. 議題【道の駅運営に向けた検討項目】

（1）作業部会からの報告について

○平野部会長より報告

本日第1回目の第3セクター設立作業部会で議論した主な内容について報告いたします。旭市道の駅の物販施設において取扱う品目等内容の確認を、旭の特徴を活かした産品は何かということも踏まえて議論した。また出資については、適正な金額や出資割合について議論をし、次回には旭市の実状に合った3つほどのパターンをアドバイザーに示してもらい検討することになった。施設の運営内容においては、花木部門、乳製品部門それぞれ現在の売上げ想定よりも多く売り上げることができるという前向きな意見をいただき、花木部門には専門スタッフを配置したいという具体的な発言もあった。また、野菜の販売品目については今後調整が必要であるといった意見があった。その他では加工施設利用として、焼きたてパンの提供やスイーツの加工など、

より具体的な意見交換もありイベントスケジュールについても議論した。特色ある旭市の道の駅を作るために幅広く意見を集約し、よりよい施設になるよう今後も議論を重ねたいと思う。

委員長：作業部会の報告について、何か意見はありませんか。

各委員：特に無し。

（２）駅長の選定及び視察研修について

※事務局より説明

- ・駅長選定スケジュールの確認
- ・人材紹介については、年内１１月まで市内から人材を選出し、１２月からは市外を含めた人材の選出を行う。この期間に公募要領等の資料作成を平行して行い、人材紹介で適した候補者の推薦がなかった場合には、４月から一般公募における募集を開始する。６～７月に試験を行い９月に決定し１０月からの勤務開始となる。
- ・各委員へ駅長候補者の推薦依頼
- ・視察集合日時等の確認、視察先「思川」「まくらがの里こが」の紹介

市長：委員の皆様にも候補者を探していただき、事務局宛に推薦いただきたい。

委員長：推薦も偏ってはいけないので、市の広報誌に載せて募るということではどうか。

事務局：掲載記事の内容や時期のタイミングもあるので、広報誌等については慎重に検討させていただきたい。

（３）施設ゾーニングの報告について

※事務局より説明

- ・道路に平行に建物を配置したゾーニングの説明
- ・建物内のそれぞれのスペースについて説明

※千都建築設計事務所より説明

- ・物販施設のレジ位置について説明
- ・施設外観（洋風のＡ案及び和風のＢ案）について説明

各委員からの意見

市長：イベント広場の回廊部分の屋根は、施設を隠してしまうのではないかな。また、台風などに耐えられる強固な構造で整備すると費用も相当かかるのではないかな。

委員：施設自体が巨大な看板のような効果を発揮したいので、視覚的に邪魔になるのではないかな。

委員長：こういった回廊屋根というイメージではなく、東京八重洲口に最近整備された「グランルーフ」のような整備をして、雨天時の雨よけやシンボリックな役割ができればよいと考えているのだが。

市長：それも建物を隠してしまうことに変わりないではないか。

委員：整備費用も相当かかるし、道路から建物が見えなくなってしまうだろう。

委員長：施設外観等は本日決定しなければならないのか。

設計事務所：方向性だけでも示していただければと考えている。

委員長：では委員の皆様から A と B の両案について意見をいただくか。

市長：今日の決定というのはあまりに早計ではないか。

委員長：次回委員会（視察研修時）に意見を伺うことではどうか。

市長：物販スペースは市内のスーパー等と比較するとどうなのか。広さのイメージが湧かない。

事務局：昨年度の建設準備委員会において、想定している売上げ規模に合わせて算出した面積であり、実施計画書のゾーニング図と同じ面積である。

市長：今はまだ設計が確定していないので見直しが可能なのでは。確認の意味も含めて市内スーパーや近隣道の駅の状況を示してもらいたい。

アドバイザー：現在想定している売上げについては十分売上げることが可能な面積であり、他の道の駅と比較しても決して小さい方ではない。これ以上販売面積を大きくすると陳列棚等に空きスペースができる可能性があるが。

市長：旭市は農水産物の大産地であるため、方法を考えればいくらかでも品物を集めることが可能なのでは。

アドバイザー：物販スペースと情報発信スペース及び花木スペースには大規模な仕切り等は設けない予定なので、状況に応じてレイアウト改変（物販スペースを広げる）を行うことでも対応できるのではないか。

委員長：物販施設のレジ位置及び施設外観の決定については、次回委員会（視察研修時）に確認ということでよいか。視察先の道の駅も参考にいただき帰りのバスで意見を伺いたい。

（４）その他

委員：本日は作業部会が午後３時から開始し、午後４時４０分から準備委員会という開催であったが、今後より詳細な議論を行う場合には時間的な余裕が無いと感じたが。時間を早めて開催する等事務局の考えを聞きたい。

事務局：開催時間については早める方向で検討して報告する。